

平成27年第3回

伊根町議会定例会会議録

平成27年9月18日（第3号）

伊 根 町 議 会

平成27年第3回（定例会）

伊根町議会 会議録（第3号）

招集年月日	平成27年 9月18日 金曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成27年 9月18日 9時28分			議長	泉 敏夫	
	散会	平成27年 9月18日 10時07分			議長	泉 敏夫	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	藤原正人	○	7	佐戸仁志	○	
	3	濱野茂樹	○	8	上辻 亨	○	
	4	松山義宗	○	9	泉 敏夫	○	
	5	山根朝子	○	10			
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席12名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	保健福祉課長	須川清広	○	
	副町長	小西俊朗	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	教育長	石野 渡	○	総務課主幹	石野 靖	○	
	総務課長	鍵 良平	○	地域整備課主幹	泉 吉広	○	
	企画観光課長	泉 良悟	○	教育次長	梅崎 良	○	
住民生活課長	上山富夫	○	会計管理者	倉 正人	○		
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	前野義明	○	主 査	今岡敬雄	○	
会 議 録 署名議員	2番	藤原 正人		8番	上辻 亨		
議事日程	別紙のとおり						
会議に付 した事件	別紙のとおり						
会議の経過	別紙のとおり						

平成27年 第3回 伊根町議会定例会

議事日程 (第3号)

平成27年9月18日(金)

午前 9時28分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第39号 平成26年度伊根町歳入歳出決算認定について

会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第 39 号 平成 26 年度伊根町歳入歳出決算認定について

会 議 の 経 過

平成27年9月18日(金)
午 前 9時28分 開議

◎ 開会・開議の宣言

- 議長(泉 敏夫君) それでは、おはようございます。
ただいまの出席議員は全員です。
これから本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において
2番、藤原正人君
8番、上辻 亨君を指名します。
以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いします。

◎ 日程第2 議案第39号

- 議長(泉 敏夫君) 日程第2、議案第39号 平成26年度伊根町歳入歳出決算認定についてを議題とします。

11日に引き続き質疑を続行します。なお、各会計とも答弁保留になったものについては最後までまとめて回答していただきます。

それでは、国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算を対象として質疑を行います。5番、山根朝子君。

- 5番(山根朝子君) おはようございます。

この、付属書の5ページの国民健康保険財政調整基金で質問します。

これは、1億2,100万というちょっと余り大き過ぎるような基金がたまっていると思うんですけども、これは1人当たりになるとどれくらいの金額になるのでしょうか。

それと、この国保というのは平成30年には府と一本化するというふうにも聞いているんですけども、今後この基金というのはどのように運用をされるのかお聞かせください。

- 議長(泉 敏夫君) 上山課長。

- 住民生活課長(上山富夫君) 山根議員からのご質問でございます。

まず、国保財調の基金についてでございますが、1点目の1人当たりということになりますと、1人当たり約17万円という額になります。もちろん、京都府内でも一番大きな1人当たりの額ということにはなっております。

それから、2点目です。今後の使途ということになります。特に30年度の国保一元化に向けてというお話ですが、過日も少し触れさせていただきましたけれども、今度、平成30年度に国保、京都府一元化に向けて今取り組みが進められておるところでございます。その中で、一定この財調基金につきましては国保税に充当することが可能ということが言われておりますので、平成30年度以降は基本的には京都府に一元化されたところから、伊根町さんこれだけ下さいという賦課方式に変わります。

それに対して、伊根町の国保会計としてその提示された賦課額を拠出していくこととなりますが、保険税にあわせてこの財調基金からの取り崩しも含めながら、財源として財源手当てを充てていくということが可能だと考えられておりますので、今後そうしたこともあわせて、この基金が十分あるというふうには考えておりません。今後は、保険料の安価な設定ということも含めて使途として考えていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） ちょっと数字とかこういうのは実は弱いので、確認です。一本化されたら、その17万円を使って伊根町、私の理解では一本化されると国保税って結構上がるというふうに認識しているんですけども、それがその17万円分があるので、そこから取り崩しができるので、そんなにぱっと上がらずに少しずつというか、余り負担はしばらくの間はないというふうな感じで理解してよろしいんですね。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） はい。1人当たりこの17万円の額について、無尽蔵にということではございません、山根議員おっしゃいますとおり、何年間かは激変緩和のための充当が可能であるだろうというふうに考えております。それとあわせまして、伊根町のほうといたしましては、もともとの賦課される金額についても大きく引き上げが想定されますので、激変緩和も十分に措置をしてほしいということで今お願いをしておりますのでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 107ページでございます。保健事業についてお伺いいたします。

まず、2点ありまして、1つは人間ドックでございます。こちらPET検診、非常に好評で、これ定員いっぱいまで今年度は、平成26年度は受診されたという結果が出ております。それを踏まえて、今後人間ドックについてPET検診をさらに枠をふやして続けていくのか、それともその他の人間ドックの健診を自己負担をもっと減らすなりして充実させていくのか、それがまず1点目。

もう1点が、インフルエンザの予防接種でございます。法定接種と任意接種があるわけですが、昨年、伊根町役場では職員が集団的に感染されて、役場が機能なかなかしづらいといえますか、住民からも今役場にはちょっと行けないよというような声も聞くということがありました。そういったことも踏まえまして、医療費の削減を今後図る観点からでも、任意接種、これの負担割合について見直す必要があるのではないかとこのように考えるのですが、受診しやすい環境について次年度以降どのようにお考えなのかお伺いいたします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 濱野議員のほうから2点ご質問いただきました。

1点目につきましては、人間ドックに係りますご質問でございます。議員ご指摘のとおり、上限を30人として限定をさせていただいて、今まで人間ドックの助成をしてくれております。実は、平成26年度、昨年度も5月末には定員30人がいっぱいの予定となりまして、その後に申し込まれた方にはお断りをしてきたという経過が確かでございます。

しかし、今年度も上限を30人として今まで同様にちょっと周知をさせてきていただいたところでございますが、現時点ではキャンセル等もございましたこともありますが、現時点で27人の申し込みということになっております。現時点では30人、まあまあことしについては妥当な設定になるのかなというふうには考えておりますが、PET検診につきましては、がんの発見に大きな効果があるというふうに言われておまして、そういったことから国保事業として助成事業に取り組んできたところでございます。

しかし、医師それぞれの考え方によりましては、PET検診に助成することに対しまして疑問視をされるドクターもいらっしゃることも事実でございます。今後は、診療所長であります石野ドクター、また本庄診療所の宮地ドクターとも相談をさせていただきながら、今後のPET検診のあり方、また濱野議員からご指摘のありましたほかの健診の費用の引き下げ等も含めまして、十分医師とも協議をしながら庁内でも検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

もう1点は、インフルエンザの予防接種に係りますご提言でございます。去年は、濱野議員おっしゃいますとおり、役場の危機管理が十分に徹底ができていなかったということもありまして、インフルエンザにかかった職員が次々とというんですか、休みが出て、実際には役場に行ったらインフルエンザがうつるよというようなこともうわさをされておったというようなことも聞かせていただいております。

今後は、どちらの診療所長からもインフルエンザの予防の徹底はしたいねというお話を聞いておりますので、こちら両診療所長とあわせまして、インフルエンザの予防接種を極力勧奨できるよ

うな体制をしていきたいというふうに思っております。

また、職員につきましても、なかなか強制ができるものではないというふうに考えておりますが、極力インフルエンザの予防接種と予防のための自己防衛を十分徹底するよという事は、職員のほうにも呼びかけてまいりたいというふうに考えております。

最後に、予防接種の費用を引き下げられないかということですが、実は今年度、予防接種のワクチンの単価が上がったという状況でございます。去年までから比べますと約500円ワクチンの単価そのものが上がったということがありまして、与謝医師会のほうも宮津与謝地域全体を予防接種の単価を500円程度引き上げられたところでございます。

そのあたりもでございますので、伊根町としては今調整中でございますけれども、今まで社保で町内の方が町内の診療所で打たれる任意接種については2,000円で打っていただいておりますが、そのままいきますとひょっとしたら2,500円ということも考えられますが、そのあたりは診療所の経営状況、また診療所長とも十分調整をして値上げについては考えていきたいというふうに考えておまして、今すぐ値下げということにはなかなかならないのかなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（泉 敏夫君） 総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま町の職員のインフルエンザのことにつきましてご質問いただきまして、確かに議員のご指摘のとおり大変たくさんの方がインフルエンザに罹患いたしまして休むということで、大変ご迷惑をおかけしたところでございます。

恥ずかしながら私も罹患して、数日休むことになったわけですが、職員のほうには11月ごろから伊根町の診療所で受診するよという事で勧奨しております。しておりますが、許容量といひますか、1日当たりの予防接種の人数のこともございまして、町民の皆さんが受けられないことにはならないよに、その余裕分でもって職員のほうに接種をさせておりました。そういった関係もありまして、私も予約はしておったんですが、その予約日が来る前に罹患してしまったよいうな状況でございまして、このあたりのことも含めまして両診療所長さんにご相談しまして、職員の予防体制についても努めてまいりたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 先ほど山根議員さんのほうからもありましたよに、基金が、伊根町、よその市町に比べれば潤沢にあるわけでありまして。将来の医療費のことも心配されますが、懸念されるわけでございますが、インフルエンザの予防接種の自己負担、国保についてはもう少し頑張っていっていただけるぐらひの金額は、今、任意ですか、全員ゼロですか。失礼しました。

人間ドックについてでございますが、自己負担、節目については基本ドック等についてはただだったと思うんですが、それ以外の方が受診した場合にはある程度負担が生じております。その負担はもちろんのことなんですが、そこまで、病院まで行く場合の費用、そういったもの、交通手段ですね、交通手段のない方も中にはいらっしゃるよでございまして。この辺について、何か検討する余地があるのではないかとおもうんですがいかがでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 人間ドックを受けていただける箇所が遠うございまして、濱野議員のおっしゃいますとおり交通手段の確保というのがなかなか難しいんだろいうふうにお思っております。現段階では考えておりませんが、今後全体的な診療所の交通手段の検討のこともございまして、それらも含めまして今後検討させていただきたいと思ひます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ございせんか。

質疑がないよでありますので、次に、伊根町診療所勘定及び本庄診療所勘定の各歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございせんか。

次に、簡易水道特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございせんか。質疑がないよであります。

次に、下水道事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。下水道事業につきまして、何かご質問ございせんか。

質疑なしと認め、次に、財産区特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定及び介護サービス事業勘定を対象として質疑を行います。ご質疑ございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 付属書の116ページです。

この表の中の施設の給付費の関係なんですが、他市町村への入居者が少なくなったのでこの部分の給付費が前年度と比べて減っているという説明を受けたんですが、現在のところ待機者というのがどれぐらい人数がおられるのか伺いたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 手元資料がございませんので正確な数字ではないですけども、町内の方で十数名の方が待機ということになっております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 117ページ、介護保険料でございますが、不納欠損処分ということで、死亡、相続人不存在ということで執行停止されて5万3,610円が不納欠損処分されております。この死亡に至るまでの間に財産調査等がされたというふうな話を聞きましたし、あと税機構との連携もされたと聞きましたが、どの程度まで調査をされて、どういった経過で、ここまでの間2年間はあるわけですね。2年間の間に調査がどの程度までできたのかお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 休憩します。

休憩 9時54分

再開 9時57分

○議長（泉 敏夫君） それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 債権の調査につきましては、税機構のほうに債権が移っておる部分がありましたので、税機構のほうに調査のほうを行っておりまして、そこの連携により行うということでありまして、そのときに財産の相続人が亡くなったこともありまして、その財産管理人が設定されまして、そこへ債権のほうの申し出をしております。ということで、その債権の配分を待っておったところでありまして、その配分より時効のほうは早く来たということでありまして、財産の調査については税機構の調査を行いながら連携をしておったということです。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ちょっと違っていたら申しわけないんですけども、相続人不存在ということで家庭裁判所のほうに申し立てをされて、相続財産管理人が設定されて、その方に対して交付要求なりがされたという認識でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 町内の全ての負債について申し出をしてくださということで財産管理人のほうからありまして、伊根町がまとめて請求のほうはさせていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 交付要求の期間中については、時効の停止期間に入るんじゃないんですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） その清算までの間は執行停止には該当しないということで、時効のほうが進んでいくということでもあります。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 手続的には、参加差し押さえとか交付要求という形がされている間については、時効って停止期間に当たるんじゃないんですか。時効停止じゃなくて、その分は関係ないんじゃないんですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 介護保険については、その案件に該当しないということです。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ありませんか。質疑を終ります。

それでは、次に、訪問看護事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。何かご質疑

ございませんか。質疑がないようであります。

次に、最後に後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑を終ります。

以上で、平成26年度歳入歳出決算の全ての会計の質疑が終わりました。この際、全てを通じて何か質疑等がございましたら、これを受けることにします。佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 先ほどちょっと簡易水道のことを言いそびれまして、決算書275ページの簡易水道の施設管理費なんですけど、草刈作業員8万3,460円何かありますが、この間、初めて朝妻浄水場を外から見る機会があったんですけど、フェンス草だらけでジャングルのような状態になっておりました。中もちょっと見させていただいたんですけど、我々が飲む水のもとがコケだらけで、とても衛生的ではないというように思えたんですけど、もう少し、大事なものですので、水道は、管理が徹底できないものか。

朝妻浄水場の近くには猿の群れがよく出てきたりしていますが、猿の群れが浄水場の中に入らないような対策ができないものかと思ひまして、質問させていただきました。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 佐戸議員のご質問にお答えします。

この草刈作業員につきましては、蒲入のほうの維持管理をしていただいている方に支払っている分でございます。

そのほかの浄水場等施設につきましては、職員が夏から秋にかけて行うわけですが、ちょっと今年度につきましては1名職員が長期休暇ということで、1名体制で回っていたということで、ちょっと気にはしておったんですけど、手が回らないということをご報告を受けておまして、そういう状態になっています。

臨時職員が採用されて、その方が現場へ行くようになりましたので、維持管理はそれから進んでいくと思いますが、そういう事情もあったということをご了解いただきたいと思います。

また、そのコケなどの管理もちょっと私も現地は確認しておりませんので、一度確認しまして、しっかりと管理体制がとれるように進めてまいりたいと思います。今後とも十分気をつけて管理をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） すみません、ちょっと言い忘れたことが1つ。

今、役場の本庁でも屋根の上の防水が切れて雨漏りをするということで、バケツなんかで受けてありますけれども、朝妻浄水場は防水のシートが何かむちゃくちゃになっておるような感じで、あれは誰が見ても漏水が起きるのではないかなという状態になっているんですけど、あのまま放っておくとますます修理修繕に費用がかかるのではないかなと思うんで、早急に見ていただいたほうがいいと思ひます。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 現地確認しまして、対応してまいりたいと思ひます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに。質疑がないようですが、一般会計及び全ての特別会計の歳入歳出決算についての質疑を終りたいと思ひますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで、議案第39号 平成26年度伊根町歳入歳出決算認定の質疑を終ります。

◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

本日、全ての決算質疑を終りました。最終日は25日午前9時30分から開催する予定でありますので、よろしくお願ひします。

なお、初めに一般質問から行いたいと思ひます。

ご苦労さまでした。

散会 10時07分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員